

熊本学園大学
図書館報

大楠

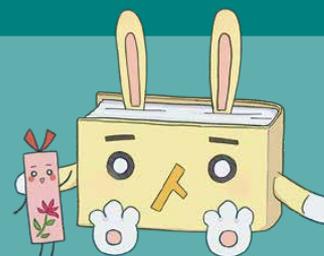
Oaks

第64号

2025〔令和7年〕

Contents

- 1 館長エッセイ
- 2 特集「現図書館開館30周年を迎えて」
- 11 NEWS
- 13 Library Data



図書館キャラクター
「ひのと」と「しおりちゃん」



特集「現図書館開館30周年を迎えて」

2025年4月1日で開館30周年を迎えた熊本学園大学附属図書館。
学修・研究・保存図書館としての機能に加え、『知』の交流を支える図書館として
これからも学内外の人びとを結ぶ役割を果たしていきます。

現在の附属図書館は、熊本学園創立50周年記念事業の一環として1995年(平成7年)4月1日に開館しました。今年で30年という節目の年を迎えたことになります。そこで、図書館報『大楠』のバックナンバーを少しひも解いてみたいと思います。

新図書館では、当時としては先進的な研究個室、グループ学習室やAVコーナーが新設されました。早速、学生から「AVルームと研究個室はすばらしく、私はかなり利用しました」とか「AVコーナーについて音楽を聞いたりビデオを視たりした」といった喜びの声が寄せられています(18号)。オープンに際して、2階が「マルチメディア満載～調査とくつろぎのフロア～」(16号)と紹介されているのは、少々時代を感じて微笑ましくもあります。図書館ではその後、2013年に「主体的で独創的な学生の学び」を支援する「次世代型図書館空間」としてラーニング・コモンスが(52号)、今年6月には図書館利用中のくつろぎ空間としてリフレッシュルームが生まれるなど、進化を続けています。

加えて、誌面にしばしば表れているのが地域貢献の理念です。96年の新館長挨拶として、「地域社会に親しまれ、地域社会に貢献することも重要な目標」(18号)と記されているのが象徴的です。附属図書館が、公共図書館ではないにせよ、地域に根ざした大学の施設としてその一端を担っているという意識を常に持ち続けてきたことが分かります。

一方で、2016年4月の熊本地震では、書架の倒壊など甚大な被害を受け、再開まで半年余りの時間を要しました。教職員や学生ボランティア、また学外の多くの方々の支えがあって乗り越えることができました(55号)。近年では、新型コロナウイルスの影響を受けて2020年4月以降、長期休館や利用制限を余儀なくされる事態となりました。

すでに1995年以降の誌面にも、「データベース」「インターネット」「デジタル革命」の言葉が見られますが、コロナ禍を経て、熊本でもオンライン化・デジタル化が急激に進行しました。時代の変化に合わせて附属図書館も、従来の紙媒体の図書や資料を中心とした学修空間、調査・研究空間に加えて、電子書籍・公開資料などのデジタルコンテンツへの橋渡しを行う情報空間へとその役割を拡大・発展しつつあります。だからといって、附属図書館が教職員、学生や地域の人々の勉学、調査・研究を支援する「おだやかな知の空間」であることに変わりはありません。学びたいと思うとき、いつもそこには図書館があります。

いつもそこにある

図書館



土井 浩嗣

Hirotsugu Doi

2024年8月図書館長就任
外国語学部教授
熊本学園大学副学長
[専門分野]
朝鮮近代史・農業史
[主な著書]
『植民地朝鮮の勸農政策』
(思文閣出版・2018年)

大楠
Oaks

大楠(Oaks)とは

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹周り4~5mに達する県木でもある緑豊かな楠(クスノキ)の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks(Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System)と命名しました。

1995

建築されたばかりの図書館の写真



特集「現図書館開館30周年を迎えて」

現在の図書館は、学校法人熊本学園の創立50周年記念事業の一環として建設されました。
キャンパスの中央に位置し、鉄筋鉄骨コンクリート地上4階、地下2階建て、延べ床面積約9,600平米と、
30年の年月を経て現在に至っています。

今回の特集では図書館の「昔と今」の姿を振り返りつつ、
これまでの歴史を追うとともに、さらなる『知』の蓄積と活用をめざし、
未来に向かって進化し続ける図書館の取り組みをご紹介します。

HISTORY



現在の図書館の写真

2025

学校法人熊本学園の沿革

熊本学園大学付属図書館の歴史

1942

昭和17年4月
財団法人東洋語学
専門学校設立

1946

昭和21年
附属民族文化研究
所設立。支那語科、
露西亞語科、馬來
語科に関する文献
が収集される

1949

昭和24年
蔵書数3,000冊

1952

昭和27年
大江町渡鹿に移
転、図書館は本館
内に併設



1956

昭和31年4月
敬愛幼稚園設立

1945

昭和20年11月
財団法人熊本語学
専門学校と改称

1948

昭和23年
黒髪町宇留毛の立
田校舎の中に木造
モルタル2階建ての
図書館を新築

1950

昭和25年4月
熊本短期大学設立

1954

昭和29年4月
熊本商科大学設立



図書館概要 overview

熊本学園創立50周年記念事業の一環として建設。従来の図書館(2号館)の狭小化と施設・設備の利便性を改善するために、平成5年に着工し、平成6年11月に完成。翌7年4月1日に開館。

施設 facility

鉄筋鉄骨コンクリート地上4階・地下2階建て、延床面積9631.1㎡、総座席数は897席(現在は965席)。閲覧室のほか各階の主な施設として、地下1階:AVホール、1階:ラーニング・commons、2階:AVコーナー、研究個室、グループ学習室、点字室、3階:研究個室、グループ学習室、マイクロ資料室、パソコンコーナーなどを設置。



1963

昭和38年11月

鉄筋4階積層3層
20万冊収容可能
の新総合図書館
が竣工
総合図書館完成



1975

昭和50年7月

書庫の再拡張
50万冊が収容可能
となる

1989

平成元年4月

図書館電算システム稼動開始(NEC Lics-U)
開館時間21時まで

1991

平成3年

電算システム愛称「Oaks」に決定。熊本学園創立50周年記念事業の一環として、新図書館建築計画始動

新図書館
建築計画
スタート

1959

昭和34年4月

附属高等学校設立

1971

昭和46年9月

総合図書館書庫増
改築完工
書庫を拡張した

1983

昭和58年

研究棟の中に、外国雑誌、紀要、外国新聞を中心とした図書室を設ける(714㎡)

1990

平成2年4月

開館時間
24時まで
延長!

歴代館長 (任期/専門) Director

平成2年1月～平成3年12月
※建築開始時

経済学教授/
専門:会計学

永田 達郎

平成20年1月～平成23年12月

経済学部教授/
専門:イギリス社会思想史

村松 茂美

平成4年1月～平成7年12月
※新図書館

商学部教授/
専門:管理会計

梅村 勲

平成24年1月～平成27年12月

外国語学部教授/
専門:英語学概論

堀 正広

平成8年1月～平成9年12月

経済学部教授/
専門:経済理論

中村 廣治

平成28年1月～平成28年12月
※熊本地震災害時図書館長として着任

商学部教授/
専門:情報工学

堤 豊

平成10年1月～平成13年12月

商学部教授/
専門:経営社会学

嵯峨 一郎

平成29年1月～令和2年7月

商学部教授/
専門:保険論

林 裕

平成14年1月～平成15年12月

経済学部教授/
専門:教育方法論

市来 努

令和2年8月～令和4年7月

外国語学部教授/
専門:朝鮮語学

矢野 謙一

平成16年1月～平成18年12月

商学部教授/
専門:流通システム論

宇野 史郎

令和4年8月～令和6年7月

経済学部教授/
専門:国際経済学

金 栄緑

令和6年8月～現在

外国語学部教授/
専門:朝鮮近代史・農業史

土井 浩嗣

学校法人 熊本学園の沿革

熊本学園大学附属 図書館の歴史

1994

平成6年4月

熊本学園大学改称
※熊本学園創立50周年
を機に名称変更

熊本短期大学を統
合して外国語学部、
社会福祉学部を開
設し、熊本学園大学
と改称した

1995

平成7年4月

図書館開館(現在の
図書館)

熊本学園創立50周年
記念事業の一環とし
て建設
建設費は約30億円



1995

平成7年5月30日

図書館落成記念祝賀会(於:熊本ホテ
ルキャッスル)

祝賀会には地元政財界や教育界などか
ら約800人が出席。岩野茂道学長が記
念事業への協力に感謝の言葉を述べた
後、歓談した。また、祝賀会に先立ち約
500人が図書館を見学した

【1995/05/31 熊本日日新聞(朝刊)20面】

1991年から続く

1994

平成6年11月

図書館竣工



1996

平成8年4月

オープンから1年

オープンから1年を振り返る

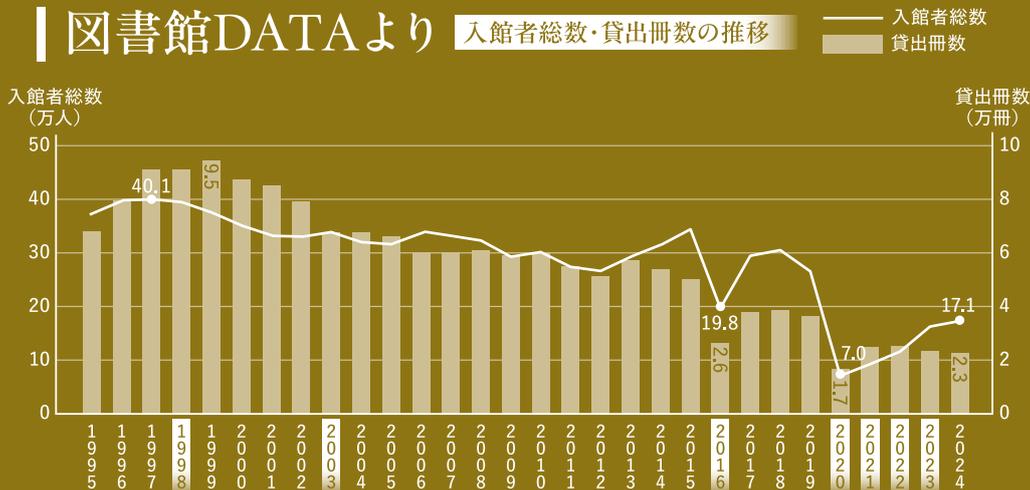
多い時は利用者が一日に
延べ5,000人を超えること
もあった

【1996/02/04 熊本日日新聞
(朝刊)11面】

図書館の
開館当初は
目新しさもあって
利用者数が
大幅に増加



図書館DATAより 入館者総数・貸出冊数の推移



1998年

- 年間開館日数 第7位(320日)
 - 学生数7,333名
 - 図書受入冊数20,484冊
 - 蔵書502,000冊
 - 貸出冊数7冊(学生一人当たり)
- 出典:「大学ランキング」(朝日新聞社)1998年

2003年

大学図書館ランキング(総合)第46位

2016年 熊本地震

2020~2023年 コロナ禍

2023年

大学図書館ランキング(総合)第53位



1997

平成9年4月

図書館案内ビデオ
「図書館へ行こう!!」
製作上映
一般開放始まる



1996年11月
図書館
ビデオ制作

2004

平成16年4月

図書館システム移行
(リコー LIMEDIO)
利用者目録検索(OPAC)、
WWWインターフェース
など新しく



2004年9月
図書館新
システム導入

図書館
システム担当者:
森山 寛氏

2011

平成23年4月

附属中学校設立

1997

平成9年4月

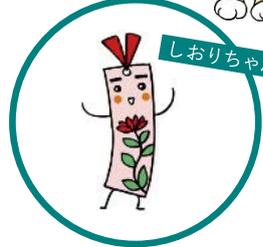
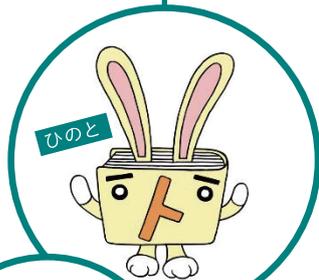
図書館HP開設



2010

平成22年11月

図書館キャラクター登場!
図書館総合展「図書館キャラク
ター・グランプリ!」へエントリーし
た(2015年/2016年)
図書館の案内うさぎ「ひのと」
相棒の「しおりちゃん」と本探しに
困った人のお手伝いに日々励んで
いるという設定のキャラクター



「松田道雄文庫」の創設と 展示会開催

1999年 — 2001年

市井の小児科医、松田道雄氏の著書、蔵書、資料など約2万3千点を所蔵。医学、社会科学、文学、哲学、歴史など多方面にわたる。平成11年12月京都の松田邸より蔵書が運び込まれ、平成13年6月に整理終了。同年11月「松田道雄文庫」展を開催した。主な著書に『私は赤ちゃん』、『育児の百科』など。



Library Lovers'

2010年 — 2015年

九州地区の国立大学図書館が中心となり現在も実施されている取組み。本学も2010年~2015年まで参加した。



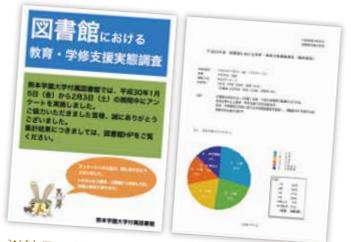
貴重資料の展示 (マルクス『資本論』 初版 他)

毎年、図書館新入生ガイダンスの期間中に展示。



2015年~2017年実施 アンケート調査

図書館における教育・学修支援実態調査を実施した。対象は学部生、大学院生、教員。図書館の施設、サービス、利用者支援について意見や要望をふまえ改善策を閃いた。



※結果は図書館ホームページ上で公開中

学校法人熊本学園の沿革

熊本学園大学附属図書館の歴史

2011年から続く

2013

平成25年9月

ラーニング・commons設置

2012年～

アクティブラーニング(能動的学修)の波

大学図書館の在り方にも新たな発想が求められるようになった

2013年

学生コンシェルジュ採用。機関リポジトリ公開。Facebook、X(旧Twitter)開始

2018

平成30年

外国新聞処分
書庫整理

2022

令和4年5月

学校法人熊本学園
創立80周年を迎える

2023

令和5年9月

ラーニング・commons
10周年

2016

平成28年4月

熊本地震

大幅

リニューアル



2019

平成31年3月

「新1号館 みらい」
竣工

2020

令和2年2月

コロナ禍による利用制限

新型コロナウイルス
感染拡大防止策

オンライン授業や学内への立ち入り制限。図書館も利用制限や日曜日を臨時休館へ変更した

2025

令和7年4月1日

図書館開館30周年。各種企画・イベント開催



LC ラーニング・commons

名称	図書館ラーニング・commons
運用開始	2013年(平成25年)9月 ※フレ運用は6月
面積	250㎡
座席数	90席



◀セレモニーの様子
2013年(平成25年)
9月20日(金)
9:30~10:30

フロアの
雰囲気
が変わった!



熊本地震

2016年(平成28年)4月14日と16日に熊本を襲った震度7の未曾有の大地震。

今まで経験したことのない大きな揺れに、とても怖い思いをした。日々の出来事・生活・すべてが一瞬で変わってしまい、その被害は甚大なものであったが図書館では、被災後すぐに復旧班を立ち上げ、利用再開を目指した。

※災害発生から復旧までの様子は図書館報『大楠第55号』に掲載。



“この教訓を次にどう生かすか”図書館における防災対策の強化と、図書館のBCP(事業継続計画)の課題解決に向けて取り組みます。

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスが世界中を大きく変えた2020年。本学も感染予防対策を実施し、利用者には手指消毒、検温、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保の協力をお願いした。また、感染症に関連する資料も展示するなど、感染症への備えを呼びかけた。

新型コロナ感染拡大防止

“コロナ禍”でイベントや講習会など、図書館整備にかかる業務が停滞

新型コロナウイルス感染症感染拡大期

2020年7月～2023年5月(利用制限解除)

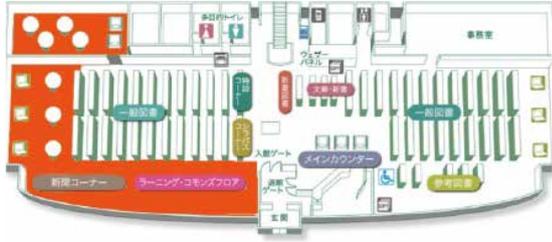


施設・設備の変遷

ラーニング・コモنزの設置

2012～2013年

1階フロア(西側)を改修



新聞閲覧コーナーの壁を取り、明るく開放的な雰囲気へ

【2023年 ラーニング・コモنز10周年】

LC(ラーニング・コモنز)が2023年9月20日に10周年を迎えたことを祝して記念イベントを開催。学生コンシェルジュを中心に、学内の先生方や手話・TRPG同好会・ビジュアルアートなど各サークルの協力を得てさまざまなイベントを行った。



熊本地震以降の大幅リニューアル

2016～2018年

1階フロア書棚を7段から5段へ



3階フロア(西側)を改修



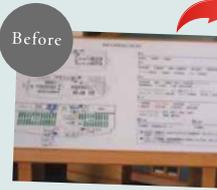
2019年10月 コミ+スタート



コミ+(コミタス)は、マンガをきっかけにして、他の本にも興味・関心を持ち、知識を深めてほしいという願いからできたManga Area。

2020～2022年

サインも一新



学生用PC 機種やスペックもアップグレード!

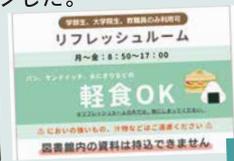


トイレを改修
(キャンパス
アメニティの一環)



リフレッシュルーム

2025年6月より、1階奥のスタディールームを飲食可(軽食)のスペースとしてリニューアルオープンした。



図書資料の変遷、図書館報「大楠」・刊行物など

システム導入でワード目録による蔵書検索が電子化した。

Before カード目録による蔵書検索



After 電子化 蔵書検索(OPAC)



Before



After



蔵書シールもOCRからバーコードへ

図書館イベントにあわせて広報物を作成



図書館報「大楠」



VHS



テレホンカード



資料形態も時代の流れとともに紙から電子媒体へ変化
・CD-ROM ・レーザーディスク
・MD ・電子ブック ・電子ジャーナル



図書館落成記念パンフレット

変わらないもの

● 一般開放

地域社会の方々にご利用いただくために、1997年から図書館を開放しています。

図書館の自由に関する宣言(自由宣言)

1954年日本図書館協会(JLA)採択
2024年に70周年を迎えた。
本学図書館もポスターを掲示している。



常に変化

● 開館時間

開館時間が延長！(第二部商学科の学生からの要望を受けて)

▶1991年～2014年

	開館時間	利用枠
1991年まで	～21:00	
1991年4月30日(火)～	～24:00	学内のみ(学生、教職員)

▶2015年5月1日～

	授業期	試験期	休業期
月～土	9:00～22:00	9:00～23:00	9:00～21:00
日	10:00～17:00	10:00～17:00	10:00～16:00 (2階3階は閉室)

▶2025年12月1日現在

	授業期	試験期	休業期
月～金	8:50～22:00	8:50～22:00	9:00～21:00
土	8:50～20:45	8:50～20:45	休館



夜間及び土日の開館は、学生アルバイトと嘱託職員、当番勤務の職員で運用。

休館日-国民の祝日、創立記念日(5月30日)、夏期一斉休業日(8月13日～8月17日)、年末・年始、入学試験日、年度末整理日 ※日曜日の臨時休館(今年で6年目)

図書館とともに・・・



本があって人がいて・・・ 月1回の勉強会の様子 (2025年6月撮影)

工学図書館などで働いた人たちです。
今も交流が続いています。



丸善雄松堂株式会社 アカデミック・プロセス・ソリューション事業部の皆さん

本学の図書館、研究所が所蔵する図書の目録作成や装備全般の業務を旧図書館の時代から担当。平成13～14年度に2万冊を超える松田道雄氏の蔵書を2年間で受入完了されたスペシャリストの皆さんです。



図書館アルバイトを経て、本学の事務職員へ採用

教職・実習課 橋本 凛さん (社会福祉学部 福祉環境学科 2025年3月卒業)

図書館の空間や雰囲気が大好きで、授業の空きコマや資格科目の勉強でよく利用していました。アルバイトでは、カウンター業務以外に本のポップ書きやイベントの企画に携わりました。4年間の大学での学びが今の業務でも大いに活かされています。

※在学中は「しょうがい学生支援サポーター」や「熊本地震震災ミュージアム」のガイド活動も！

他の学部の人たちと一緒に図書館で働くことが新鮮でした！

未来の図書館へ向けて

大学図書館のミッションは、資料や情報、施設(空間)や職員というリソースを使って大学の機能の実現を支援することです。

教育支援

研究支援

社会貢献

本学図書館においても大学教育の質的転換に応じ、学生の能動的な学びを支援します。具体的な取り組みとして、各種コンテンツや空間、人的支援の有機的な連携を図り、さらなる図書館の機能強化と組織運営体制の改善を進めます。また、デジタル環境への対応と多様な学びの場の提供、専門的知識を持った職員を配置し、研修を通じてスキルアップを図ります。引き続き図書館の環境整備を推進し、利用者サービスの充実に努めていきます。

研究成果のリポジトリ登録・公開準備中！

「熊本学園大学オープンアクセス方針」(2024年3月12日制定)に伴い、「熊本学園大学機関リポジトリ運用指針」と「熊本学園大学オープンアクセス方針実施要領」を整備中です。本学において発行・発表された研究成果を広く内外へ公開することにより、本学の知的財産を社会に還元することを目的とします。

※申請手続等は図書館のホームページ上で公開予定

知へのオープンアクセスが社会貢献の基礎となる！



※主要参考文献『学校法人熊本学園創立50周年記念写真集』学校法人熊本学園、1992

NEWS I 2024年度学生懸賞論文審査結果

2024年度は3篇の応募がありました。

論文としての体裁を重視した一次審査を行い、一次審査を通過した2篇についてさらに内容に踏み込んだ専門委員による二次審査を行い、次の通りの結果となりました(敬称略・学年は当時)。

■佳作 2篇

坂本暁結(商学部商学科4年)	女性取締役の採用が株価および議決権行使に与える影響
平尾秋(外国語学部英米学科3年)	“The Birth-mark”におけるAminadab ——deus ex machina の化身 “man of clay”——

NEWS II 図書館新入生ガイダンス・ステップアップガイダンス

図書館新入生ガイダンスは、新入生が大学図書館の機能とサービスを理解し、図書館を活用できるようになるための基礎的な支援として、1985年から実施しています。2025年度も前年度に引き続き、職員によるイラストやAI音声で制作した動画を取り入れ、親しみやすいアプローチで図書館の基本的な使い方を学んだ後、地下書庫見学などを行いました。

また、6月以降は、ゼミ単位で、より踏み込んだ図書館活用法を学ぶステップアップガイダンスも随時行っています。

実施期間	2025年4月17日(木)～5月26日(月)
対象者	初年次の演習または必修科目を履修する1年生
実施回数	21回(84ゼミ)
実施方法	対面にて実施
所要時間	90分
内容	・図書館の概要説明 ・地下書庫見学 ・館内散策、演習

初取材! 学生広報スタッフ

松村 彩未さん(経済学部経済学科1年)

初めての取材が図書館のガイダンスでした。普段入ることのできない地下書庫を撮影させてもらい、良い経験となりました。

大学HP掲載 (2025/04/24)



撮影:学生広報スタッフ



撮影:学生広報スタッフ

NEWS III 帯山中学校 「ナイストライ」

熊本市の「ナイストライ事業(職場での体験学習)」により、10月28日(火)～30日(木)の3日間、熊本市立帯山中学校から2名の中学生の職場体験を受け入れました。図書館についての説明と施設見学の後、資料受入などの事務作業からカウンターでの貸出返却、資料を紹介するPOP作成など、さまざまな業務を体験して貰いました。2名とも、それぞれの業務に熱心に取り組んでいました。



NEWS IV その他

◆ KinoDen 電子書籍の全文試し読み・購入リクエストサービス実施

【期間】 7月1日(火)～8月31日(日)
 【対象】 本学の学部生・大学院生・教職員
 【プラットフォーム】 KinoDen(紀伊国屋書店)

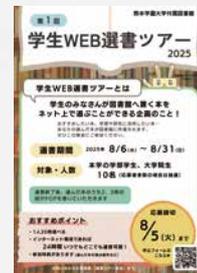
※期間中にKinoDenの全コンテンツの試し読み
 (1タイトル1回あたり5分間)

気に入ったものがあれば、購入リクエストも可能です。また、購入したKinoDenの電子ブックは、学外からでも閲覧することができます。



◆ 学生選書ツアー開催

学生のニーズに即した蔵書構成を確立し、図書館利用促進を図ることを目的に、2017年度から継続して実施しています。今年度も夏期休業期間中に「WEB選書」(ジュンク堂書店のサイト)と福岡市内の書店を巡る「学生選書ツアー」を計画しました。参加した学生は12名。選書した図書に手書きのポップを添えて12月まで中央フロアにて展示しました。



第1回学生WEB選書ツアー
8月6日(水)～8月31日(日)



第2回学生選書ツアー
9月10日(水)



◆ 図書館長杯「書評」&プレゼン大会

令和7年度教育研究支援事業(学長裁量経費)として、図書館では「ラーニング・commonsを活用した図書館における学生の能動的学修の支援を目指して」と題し、各種イベントを企画しました。

第一弾として、書評の執筆&プレゼン大会。第二弾は「トークイベント」「図書館における教育及び研究・学修支援実態調査」を実施していきます。



図書館長杯「書評」&プレゼン大会:2025年11月12日(水)
 図書館における教育及び研究・学修支援実態調査:
 2025年12月17日(水)～2026年1月16日(金)
 トークイベント:2026年1月中

◆ オープンライブラリー開催!

11月1日(土)10:00～15:00

現在の図書館は今年で「開館30周年」。地域貢献の一環として、子どもから大人まで、ご家族で図書館に来ていただけるように図書館スタッフ全員で企画・立案し、学生コンシェルジュと一緒に資料展示やトークイベント、フォトスポットなどのイベントを行いました。託麻祭期間中ということで、地域の方や家族連れで賑わいました。



ひととくの様子



フォトスポット「ひととく」と写真を撮ろう!



30年間一度も借りられていない図書



※第58回託麻祭(学園祭)
11/1(土)～11/3(月・祝)

入館者数・貸出冊数



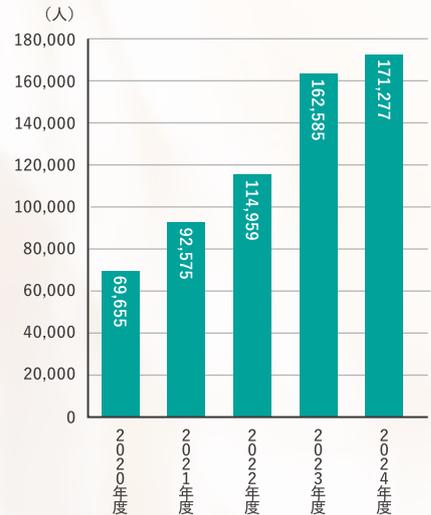
入館者数統計



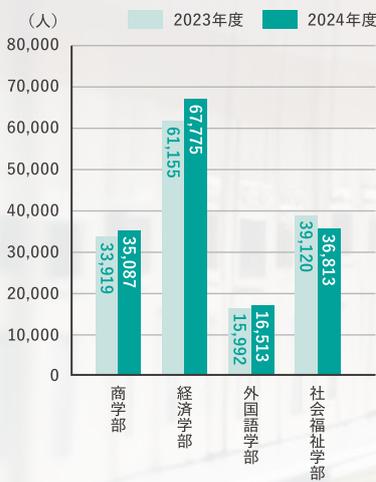
月別入館者数



入館者数 (過去5年間比較)



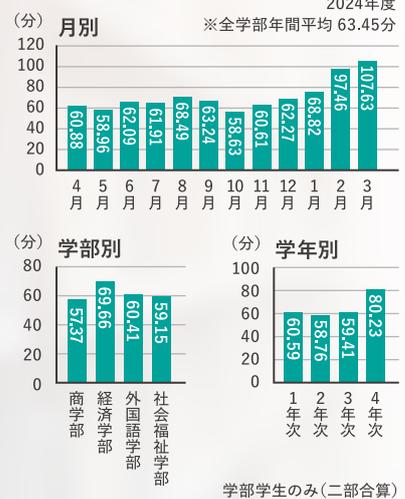
学部別入館者数



学年別入館者数



平均滞在時間



受入統計

2024年度

	洋書	和書	合計冊数
購入	269	7,105	7,374
寄贈	0	139	139
合計	269	7,244	7,513



ILL依頼・受付件数

2024年度

		件数
依頼	複写	153
	貸借	211
受付	複写	247
	貸借	58



電子資料利用統計

2024年度

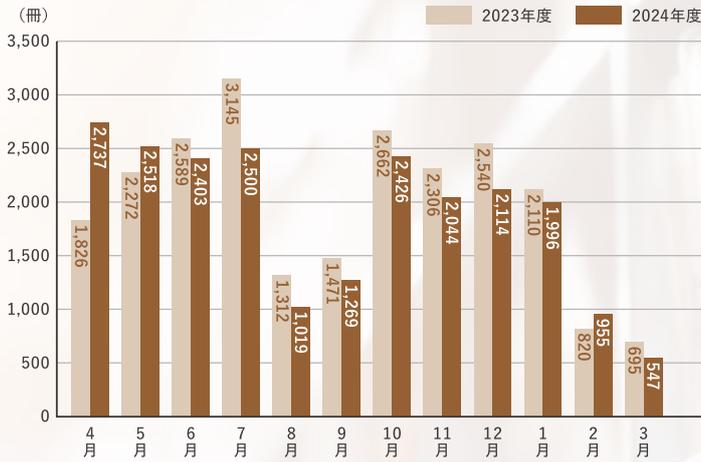
	件数
2022年度	21,656
2023年度	23,344
2024年度	33,146

ログイン回数または検索数

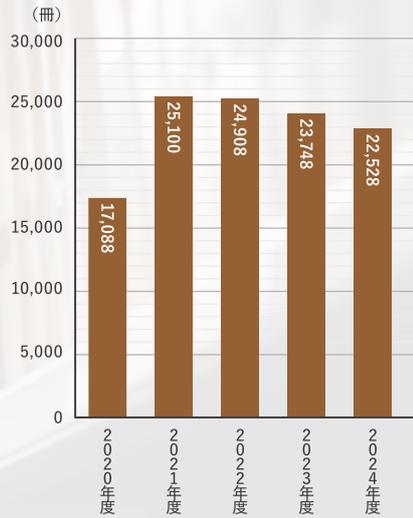


貸出冊数統計

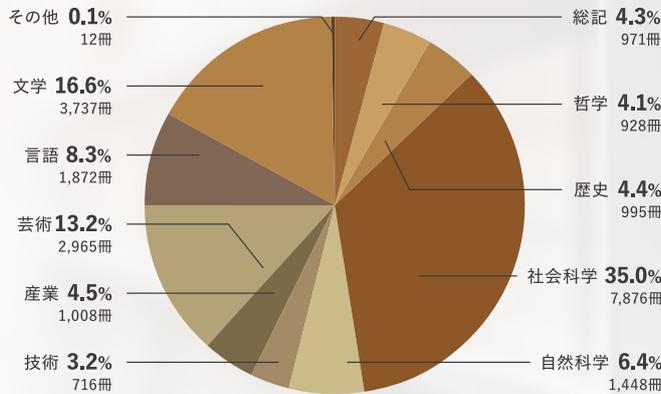
月別貸出冊数



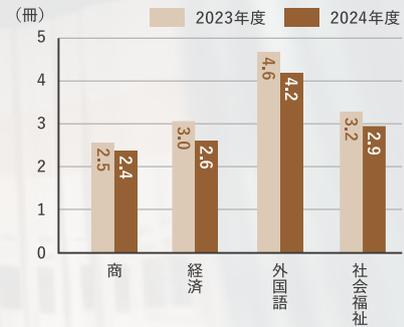
貸出冊数 (過去5年間比較)



分野別貸出冊数 2024年度



学部別一人あたりの貸出冊数



貸出冊数	商	経済	外国語	社会福祉
2023年度	3,546	4,309	2,688	4,388
2024年度	3,302	3,702	2,485	3,894

学部学生のみ(二部合算)

AVコーナー利用状況 (過去5年間比較)

年度	件数
2020年度	135
2021年度	400
2022年度	639
2023年度	2,640
2024年度	2,233

統計より Statistics

2024年度の図書館の利用者数がようやくコロナ禍以前の数字に戻ってきました。特に定期試験期間に入る月(7月と1月)は一日の来館者が2,000人を超えることもあり、館内は活気に溢れていました。

一方で図書の貸出冊数は年々、減少傾向にあります。定期試験やレポート作成の時期は貸出が多い傾向が見られましたが、夏・春休みといった長期休業期間に入ると、大学へ来る機会も減り貸出も減少となりました。図書館及び図書の利用形態が多様化していることも要因の一つと考えられます。

本学の図書館は専門書以外に教養を高める資料も豊富に揃えています。利用者の興味・関心につながるように情宣を工夫し、利用拡大を図ります。

※工夫したこと

コロナ禍以降、日曜日の臨時休館に加え、授業の関係で秋学期土曜日の閉館時間を早めたことから、大学院生を対象としたサービス拡充(図書の予約)に努めました。また、会計専門職研究科向けの専門書も多数揃えました。



図書館日誌

2024年10月～2025年9月

図書館行事

10月1日	ステップアップガイダンス
10月14日	休館（スポーツの日）
10月15日	図書館委員会
10月15日	ステップアップガイダンス
10月16日	トークイベント（スポーツの日）
10月16日	新入生ガイダンス
10月22日～24日	ナイストライ
11月1日・2日・5日	全学休講日（17時閉館）
11月3日	休館（文化の日）
11月4日	休館（振替休日）
11月9日～	土曜日20時45分閉館
11月14日	図書館委員会
11月24日	休館（本学入学試験）
12月3日	図書館委員会
12月6日～13日	大洋デパート火災資料展示
12月6日	九州5大学図書館職員研修会
12月10日	熊本県立農業高等学校インターンシップ
12月11日	学生懸賞論文表彰式
12月15日	休館（本学入学試験）
12月17日	ひのとーく（読書会）
12月25日	17時閉館
12月26～1月5日	休館（年末年始一斉休業）
1月9日・16日・23日	ひのとめいぐるみ講座
1月13日	休館（成人の日）
1月17日	全学休講日（17時閉館）
1月18日・19日	休館（大学入学共通テスト）
1月20日～24日	模型部展示
2月2日	日曜日開館（9時～17時開館）
2月5日	21時閉館
2月6日～10日	休館（本学入学試験）・蔵書点検
2月11日	休館（建国記念の日）
2月23日	休館（天皇誕生日）
2月24日	休館（振替休日）
3月3日	図書館委員会
3月8日	休館（本学入学試験）
3月20日	休館（春分の日）
3月24日	学位記授与式（17時閉館）
3月31日	休館（年度末処理）
4月3日	入学式（17時閉館）
4月3日	新入生ガイダンス
4月5日	17時閉館
4月6日	日曜日開館（9時～17時開館）
4月14日	ステップアップガイダンス
4月17日～5月26日	新入生ガイダンス
4月29日	授業実施に伴い通常開館（昭和の日）
4月30日	ひのとーく（読書会）
5月3日	休館（憲法記念日）
5月4日	休館（みどりの日）
5月5日	休館（こどもの日）
5月6日	休館（振替休日）
5月29日	ひのとーく（読書会）

5月30日	休館（創立記念日）
6月2日	リフレッシュルーム利用開始
6月8日	日曜日開館（13～15時開館）・大学懇談会
6月17日	図書館委員会
6月18日	ステップアップガイダンス
6月26日	ステップアップガイダンス
7月3日	ステップアップガイダンス
7月4日	ステップアップガイダンス
7月7日	ステップアップガイダンス
7月11日	ステップアップガイダンス
7月16日	ステップアップガイダンス
7月17日	ステップアップガイダンス
7月21日	授業実施に伴い通常開館（海の日）
7月27日	日曜日開館（9時～17時開館）・オープンキャンパス
7月29日	図書館委員会
8月3日	日曜日開館（9時～17時開館）
8月8日	17時閉館・オープンキャンパス
8月6日～8月31日	第1回 学生WEB選書ツアー
8月8日～9月19日	夏休みの長期貸出
8月9日～8月18日	休館（夏期一斉休業）
9月10日	第2回 学生選書ツアー
9月11日	休館（一般職員研修会）
9月15日	休館（敬老の日）
9月20日	休館（本学入学試験）
9月16日～10月31日	第1回 図書館長杯 書評＆プレゼン大会
9月23日	休館（本学入学試験）
9月23日	休館（秋分の日）

見学者・団体

10月17日	熊本県立熊本農業高等学校	42名
11月8日	熊本県立熊本商工高等学校	40名
11月19日	大分県立大分西高等学校	20名
12月4日	宮崎県五ヶ瀬町立小学校	19名
12月5日	熊本県立湧心館高等学校	22名
12月10日	熊本県立熊本農業高等学校	7名
12月16日	熊本県立南陵高等学校	39名
12月18日	熊本県立人吉高等学校	11名
2月26日	熊本県立熊本商業高等学校	80名
3月4日	私立城北高等学校	43名
3月18日	熊本県立牛深高等学校	60名
6月5日	熊本県立高森高等学校	44名
6月16日	私立熊本中央高等学校	30名
6月18日	私立福井南高等学校	18名
6月24日	熊本県立熊本西高等学校	43名
6月25日	未来高等学校	10名
7月8日	中国上海筑波日本語学校	22名
7月16日	宮崎県立都城西高等学校	20名
8月26日	台湾国立陽明交通大学	8名
9月9日	熊本県立熊本西高等学校	100名
9月17日	私立慶誠高等学校	65名
9月17日	私立熊本国府高等学校	120名

編集後記

現図書館の開館から30年。いつの時代も「学生が主役」の図書館を目指し、図書館長を中心にスタッフが各セクションで図書館の運営に携わってきました。

図書館は大学の姿勢を映す鏡です。学生の学びをどのように支えようとしているのかを明確に表す場所が図書館であると捉えています。大切に使われてきた図書館を次世代に引き継ぎ、図書館の歴史をつないでいきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(K.T.)

